

令和7年度 食を通じた国際文化交流事業業務委託にかかる
公募型プロポーザル方式による選定結果について

企画提案書の提出を受け付けた1社について、学識経験者等の意見を聴取する有識者会議による審査を行い、同会議の評価結果をもとに、次のとおり受託予定事業者を選定しました。

1 案件名称

令和7年度 食を通じた国際文化交流事業業務委託
契約期間 契約締結日から令和8年3月31日まで

2 選定した受託予定事業者

RE TOWN・コリアタウン共同事業体

3 公募期間

令和7年1月31日から令和7年3月5日まで

4 有識者会議による審査の結果

(1) 有識者会議名簿（敬称略）（五十音順）

氏名	所属・役職
京 里美	中小企業診断士
高橋 一夫	近畿大学経営学部 教授
中村 満寿央	一般財団法人ダイバーシティ研究所 理事

(2) 有識者会議の開催日

第1回 令和7年1月23日（書面開催）

第2回 令和7年3月12日

(3) 審査基準

評価項目	審査内容	配点
事業計画 ・方針	・本事業の目的を十分に理解し、その実現に資する方針や創意工夫等が盛り込まれているか。 ・具体的かつ実現性の高いスケジュールとなっているか。	20点
企画内容	・生野区の地域特性を把握し、それが反映された内容となっているか。 ・現実性が高いものとなっているか。 ・本事業目的を達成できるようなイベントや広報活動が企画され	40点

	ているか。 ・具体的な成果に結びつくような提案となっているか。	
実施体制	・事業実施するために必要かつ十分な人員配置となっているか。 ・事業目的を達成するための必要な専門性（企画力、営業力、発信力など）を有する人材を確保し、効果的・効率的に実施できる体制となっているか。	20 点
実績	・同種の業務実施に関する豊富な実績を有しているか。 ・同種の業務実施の結果を踏まえ提案されているか。 ・広報事業において豊富な実績を有しているか。	10 点
経費	・事業経費見積額は、提案内容に対して適当な金額であるか。	10 点
合計（委員 1 名あたり）		100 点

ア 審査にあたっては、外部有識者で構成される有識者会議で、上記の審査基準に基づき、書類審査及びプレゼンテーション審査を実施し、全委員の平均評価点により、最優秀提案事業者を選定します。

なお、その評価点数が全委員の平均で 60 点に満たない場合は、選定対象とはしません。

イ 全委員の合計点が最も高い提案者が 2 名以上（同点）の場合

- ・「企画内容」項目合計の得点が高い者を受注予定者とする。
- ・「企画内容」項目合計の得点と同じ場合は、「事業計画・方針」項目合計の得点が高い者を受注予定者とする。
- ・「事業計画・方針」項目合計の得点も同じ場合は、「実施体制」項目合計の得点が高い者を受注予定者とする。
- ・「実施体制」項目合計の得点も同じ場合は、見積価格が低い者を受注予定者とする。

ウ 合計点が最も高い提案者の評価が一委員でも 100 点満点中 60 点未満もしくは 1 項目でも 0 点がある場合は、受注予定者として選定しない場合がある。

(4) 審査を行った事業者（五十音順）

R E T O W N ・ コ リ ア タ ウ ン 共 同 事 業 体 計 1 社

※参加申請は 2 社あり（1 社は辞退）

(5) 審査結果（有識者委員の評価の平均）（小数点第 2 位を四捨五入）

評価項目	審査内容	委員平均点
事業計画・方針	・本事業の目的を十分に理解し、その実現に資する方針や創意工夫等が盛り込まれているか。 ・具体的かつ実現性の高いスケジュールとなっているか。	12.0 点
企画内容	・生野区の地域特性を把握し、それが反映された内容となっているか。	26.7 点

	・現実性が高いものとなっているか。 ・本事業目的を達成できるようなイベントや広報活動が企画されているか。 ・具体的な成果に結びつくような提案となっているか。	
実施体制	・事業実施するために必要かつ十分な人員配置となっているか。 ・事業目的を達成するための必要な専門性（企画力、営業力、発信力など）を有する人材を確保し、効果的・効率的に実施できる体制となっているか。	12.0 点
実績	・同種の業務実施に関する豊富な実績を有しているか。 ・同種の業務実施の結果を踏まえ提案されているか。 ・広報事業において豊富な実績を有しているか。	7.3 点
経費	・事業経費見積額は、提案内容に対して適当な金額であるか。	5.3 点
平均（各委員の合計点から平均値を算出） ※上記項目ごとの平均点の合計とは異なる場合がある。		63.3 点

(6) 附帯意見

- ・提案書において大まかな記載や積算が見受けられるため、契約締結後速やかに、提案書に記載のなかった部分を明記した詳細な実施計画等（以下 3 点）を提出すること。

① イベントごとのスケジュール

事前準備から終了までの予定を時系列で示したもの（広報開始時期、広報手段などを含む）

② 再委託先を含む管理運営体制図

③ 事業経費見積書

（ア）経費内訳欄にイベントごとの経費がわかるように追記したもの

（イ）既存事業を含む事業全体経費のうち、本事業にかかる経費内訳がわかるもの

- ・ベトナム国籍の子育て世帯が増加している状況も踏まえ、これまでの事業経験を活かしてさらにつながりを強化し、ベトナム文化の相互理解に資するイベントを企画すること。